

青葉山公園（仮称）公園センターの整備が進んでいます



▲公園センター予定地(青葉山公園庭球場から北方向を望む)

みんなで考える「プレイスメイキング」

公園センターの設計に当たっては、市民の皆さんとの対話を大切に、意見をくみ取りながら、「プレイスメイキング」の手法を進めています。

プレイスメイキングとは、「場所を育てる」という意識のもと、そのまちに本来より備わる文化・歴史・環境・コミュニティなど、多様な地域資産・価値を発掘し、地域に根差した場所をつくること。昨年12月より毎月1回実施し、公園センターの魅力を高めるデザインや機能などについて議論を深めています。公園センターについて、市民の皆さんと一緒に思い描き、さまざまな意見を交わす中で、親しみを感じ、オープン後もにぎわい続けるよう、人と場を結び、参加者同士をつなぐ機会にもなっています。

市では、これまでのプレイスメイキングの成果を踏まえ、5月ごろまでに公園センターの基本設計を取りまとめます。その後、実施設計を行い、2019年度から建築工事に着手。2021年度のオープンを目指し、市民の皆さんと一緒に公園センターを造っていきます。

もりの歴史を未来へつなぐ「プレイスメイキング」

昨年12月3日に開催された「プレデザインレビュー」には約100人が参加。設計事業者より計画の概要や方針を説明後、公園センターに期待することについて、意見交換が行われました。参加者からは「デザインが決まる前段階から市民が参画できる取り組みは良いと思う」などの感想が出されました。

1月14日には、ワークショップ「仙台の伝え方を創造する」が開催されました。公園センターが仙台の新しい拠点となることを目指し、地域資源やまちの価値を再認識し、公園センターから発信する仙台の魅力の伝え方を考えました。

最初に、「まちと地形の楽しみ方」の講義を受けた参加者たちは、8つのグループに分かれて、「せんだい魅力マップ」作りに挑戦。紹介したいスポットを付箋で地図に貼り、おすすめのまち歩きコースを完成させました。大崎八幡宮などの歴史を感じるコースや、広瀬川の川下りといった自然を満喫する

コースなど、多彩なまち歩きコースが発表されました。参加者は、「さまざまな立場の方のアイデアや意見が聞くことができ、良かった」などの感想を述べていました。

2月3日に開催されたデザインレビューでは、公園センターのデザインについて、設計事業者よりこれまでの検討状況と計画案を説明。その後、計画案に対して、参加者たちが「いいね!」「気になる!」と感じたこと、または「心配なこと」「伝えておきたいこと」を付箋に書き、計画案に貼りました。

これを基に行われた意見交換では、さまざまな視点から、計画案に対する期待や要望、新たな提案などが出され、議論は大いに盛り上がりを見せていました。



▲計画案を基に作成された公園センターの模型

3月3日(土)、4月22日(日)にもデザインレビューやワークショップを行います。内容など、詳しくはお問い合わせください。



◀グループで話し合いながら、紹介したいスポットを地図に貼り付けます



▶公園センターのデザインや使い方について活発な意見交換が行われました

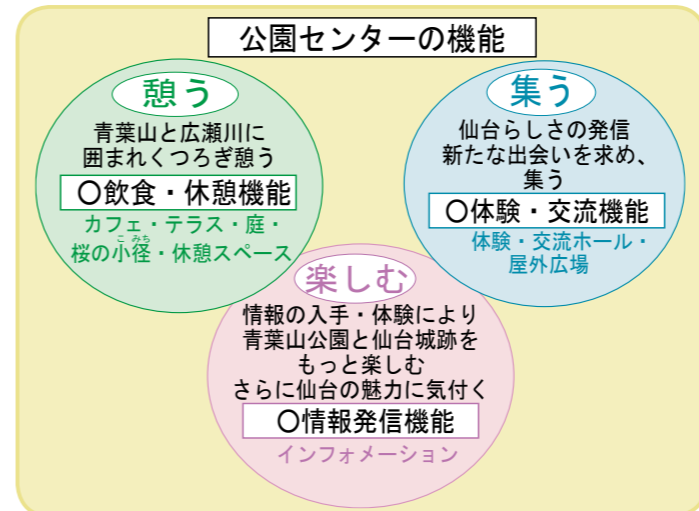
仙台の歴史文化と豊かな自然が織りなす青葉山公園

仙台の礎である仙台北城跡を含む青葉山と広瀬川に囲まれた青葉山公園。公園内には博物館や仙台国際センターなどがあり、その周辺には、広瀬川が大きく蛇行する河岸段丘が連なり、西公園や評定河原公園などの緑地空間が広がっています。

青葉山公園は、藩政時代からの歴史的・文化的資源や優れた自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことができる杜の都のシンボルとなる公園として整備が進められ、これまでに本丸広場などの「国史跡指定地区」の一部と「国際センター地区」が完成。現在は「追廻地区」の約3ヘクタールの敷地に（仮称）公園センター（以下、公園センターと表記）の整備を進めています。

青葉山公園の玄関口・（仮称）公園センター

追廻地区は、仙台北城跡の入口に位置し、藩政時代には3代目片倉小十郎景長が追廻に移り住んで以来片倉家の屋敷があったほか、藩の馬車に関する施設がありました。公園センターの基本コンセプトは、平成25年に改定された「青葉



山公園整備基本計画」により、「青葉山公園、仙台北城跡方面への玄関口にふさわしい、来訪者に向けた杜の都・仙台の歴史・文化の発信」と示され、昨年4月には「青葉山公園（仮称）公園センター基本計画」を策定しました。

青葉山の深い緑と広瀬川の清らかな流れ、そして培われてきた仙台の歴史や文化。青葉山公園を訪れた人が、公園センターを利用の起点として、その多様な魅力を楽しみ、自然豊かな風景の中でくつろぎ憩い、新たな出会いを求めて集う施設を目指し、検討を行っています。

この特集に関するお問い合わせは、公園課 ☎214・8397、FAX214・8358